

核データニュース編集小委員会報告

■核データニュース編集小委員会

合川正幸（北海道大学）、岩本修（原子力機構）、大塚直彦（IAEA）、金政浩（九大）、小浦寛之（原子力機構）、中村詔司（原子力機構）、丸山修平（原子力機構）、山野直樹（放射線線量解析ネットワーク）

（敬称略、順不同）

■核データニュース発行報告

発行：下記のとおり発行いたしました。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。

第136号（通巻第172号）2023年10月公開

- 第34回NEA核データ評価国際協力ワーキングパーティー(WPEC)会合報告 岩本修ほか
- 「2023年秋の大会」合同セッション「材料損傷評価のための核データおよび材料照射研究への活用」
 - PHITSと核データを用いた放射線損傷量の計算と検証実験 岩元洋介
 - 材料照射損傷モデリングによる照射場の定量化 森下和功
 - 試験研究炉を用いた材料照射環境の整備 加治芳行
- 研究室紹介 近畿大学工学部エネルギー物質学科核反応エネルギー研究室 有友嘉浩

第137号（通巻第173号）2024年2月公開

- IAEA第67回総会サイドイベント「未来の原子力ソリューションに最適な核データを提供する：課題と機会」 深堀智生
- 国際核反応データセンターネットワーク(NRDC)2023年会合 大塚直彦
- 2023年度核データ部会賞
 - 厚いコンクリートを透過する中性子線量の不確かさの評価における ^{28}Si 核データ断面積と角度分布の相関の重要 山野直樹
 - 機械学習を用いた核データ評価 渡辺証斗
- ブロックヘブン国立研究所での核データ活動 太田周也
- 2023年度核データ研究会報告 岩元洋介

予告：下記の記事の掲載を予定しています。核データニュースを通して部会を盛り上げていくために、自薦・他薦問わず積極的な記事提案をお願いします。

第138号（通巻第174号）2024年6月公開予定（題名はいずれも仮題）

- 「2024年春の大会」合同セッション「ミューオン核データの進展」
 - インビーム放射化法によるミューオン核データ測定 新倉潤
 - ミューオン原子核捕獲反応実験 川瀬頌一郎
 - ミューオン捕獲反応理論 湊太志
 - PHITSのミューオン輸送計算機能とその応用 安部晋一郎
- 核分裂断面積計算のための推奨入力パラメータライブラリ(RIPL) 河野俊彦
- 中国での研究生活 宇都宮弘章
- ISTC/SAC議長の訪問記(1) 深堀智生
- サクレーでの研究生活 奥山莉子

（以上）